

経営比較分析表

和歌山県 太地町

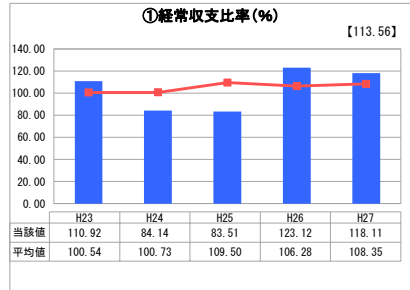
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A9
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.65	100.00	2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,291	5.81	566.44
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,268	3.14	1,040.76

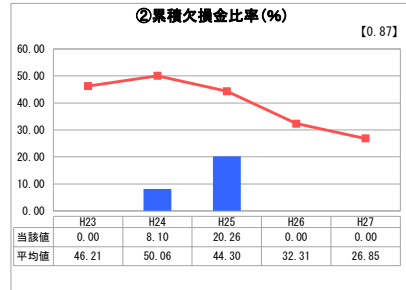
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

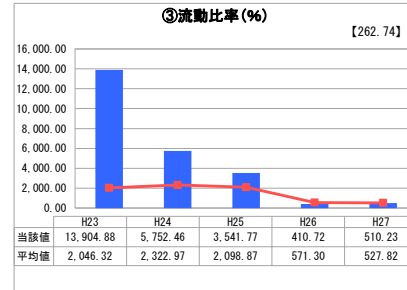
1. 経営の健全性・効率性



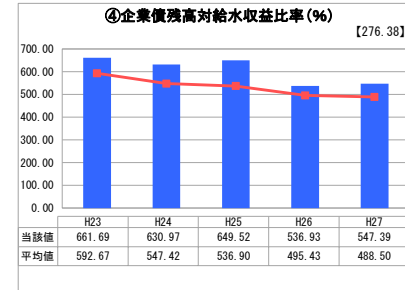
「経常損益」



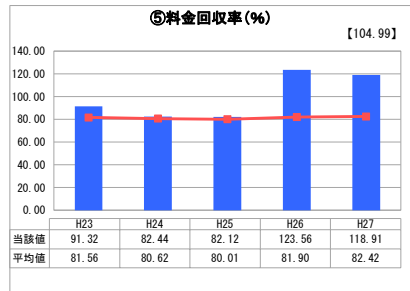
「累積欠損」



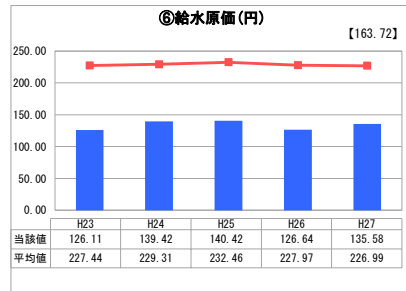
「支払能力」



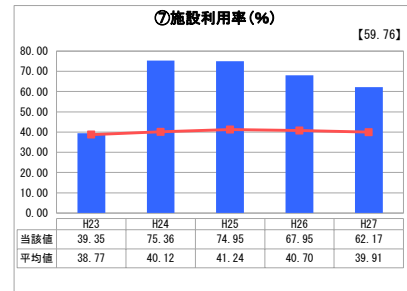
「債務残高」



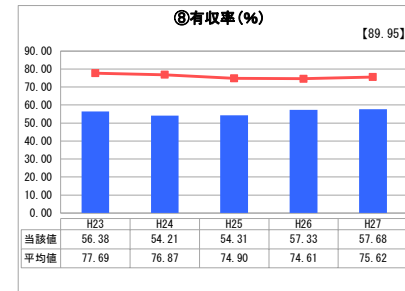
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

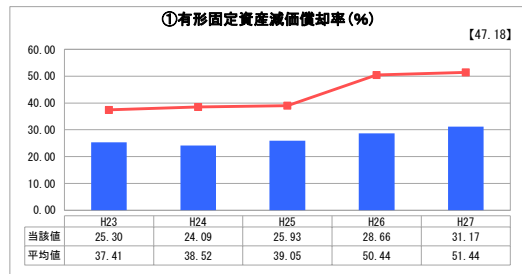


「施設の効率性」

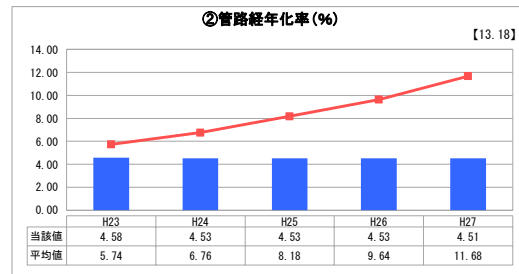


「供給した配水量の効率性」

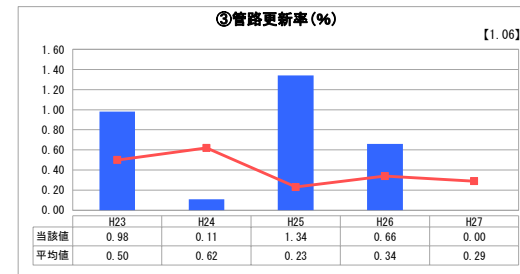
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①類似団体平均値を上回っており、良好である。
 ②累積欠損金は発生しておらず、良好である。
 ③昨年度と比較し、約100%の上昇があり、支払い能力の向上が見られる。
 ④過去の設備投資の影響で、類似団体平均値よりも少し高くなっている。
 ⑤100%を超過しており、給水収益で給水費用を賄えている。
 ⑥給水原価は、類似団体平均値よりも下回っており費用効率はよいといえる。
 ⑦類似団体平均値を上回っており、比較的良好である。
 ⑧類似団体平均値よりも、低水準の状況が継続しており、漏水調査等の対応を実施しているが、思うように改善されていない。抜本的な対策が求められている。

①から⑧の指標により、有収率の低さがあるものの、他の項目は類似団体平均値以上となっており、健全で効率的な経営を維持しているといえる。

2. 老朽化の状況について

①設備投資を継続して実施しており、今後も増加していく傾向が見込まれる。
 ②類似団体平均値よりも低い水準であるが、今後、増加していく傾向であることが見込まれる。
 ③27年度には、管路更新事業の実施がなかったため皆減となっている。②の数値が増加傾向であることが予測されるので、今後も計画的な設備投資を実施していく必要がある。

①から③の指標により、今後予定されている施設更新事業をいかに計画的に実施するかが課題であるといえる。

全体総括

水道事業については、現在のところ比較的安定かつ健全な経営を維持しているといえることができるが、人口減少による水道料金収入の減少や今後の設備更新事業の必要性を考慮すると、さらなる経営の効率化が求められる状況であるといえる。今後も経営の効率化に向けた努力を継続していく必要がある。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。